

共同店舗

建築面積：478 m²
 延床面積：564 m²（テナント区画合計：450 m²、その他：114 m²）
 構造：鉄骨造 2階建て
 区画：テナント9区画（各10坪～25坪）
 オープン：平成26年11月

地域住民にとっての生活利便・買物利便の向上に取り組むとともに、地元商業復活の先導施設として、津波被害により甚大な被害を受けた商店街の再建を促進する。被災した地元商業者等を入居テナントとし、岩手県中小企業等復旧・復興支援補助事業を活用した整備を行う。

付帯施設：水飲み、トイレ（男子・女子・多目的）
 事業者：釜石まちづくり株式会社



共同店舗 整備イメージ

市民広場

整備面積：南側広場 約2,300 m²
 北側広場 約1,000 m²
 付帯施設：大階段（大型商業施設へのアクセス階段）、連絡デッキ（立体駐車場 共同店舗 市民広場 大型商業施設）
 供用開始：平成27年3月

中心市街地再生のシンボルとして、人々が気軽に訪れ、くつろげる場所として計画する。各施設をつなぐ回遊の場であると同時に、既存商店街と大型商業施設をつなぐ軸となる。

平常時には来訪者にとって憩いの場となり、催事の際には文化、商業の様々なイベント空間として利用できる広場は、市民活動に好循環を与えると同時に、都市の潤い空間として整備する。



南側広場 平面イメージ

公共駐車場

（釜石大町駐車場）

収容台数：475台（身障者対応2台）
 車両総重量2.5t以下の
 乗用自動車
 /車両高さ2.1m未満
 構造：鉄骨造5層6段（耐火構造）
 延床面積：12,065.21 m²
 付帯施設：エレベーター2台
 供用開始：平成26年3月

生活利便施設であると同時に、一時避難場所を兼ねた耐震・耐津波バリアフリー駐車場として整備することで、安全・安心な拠点形成を実現する。

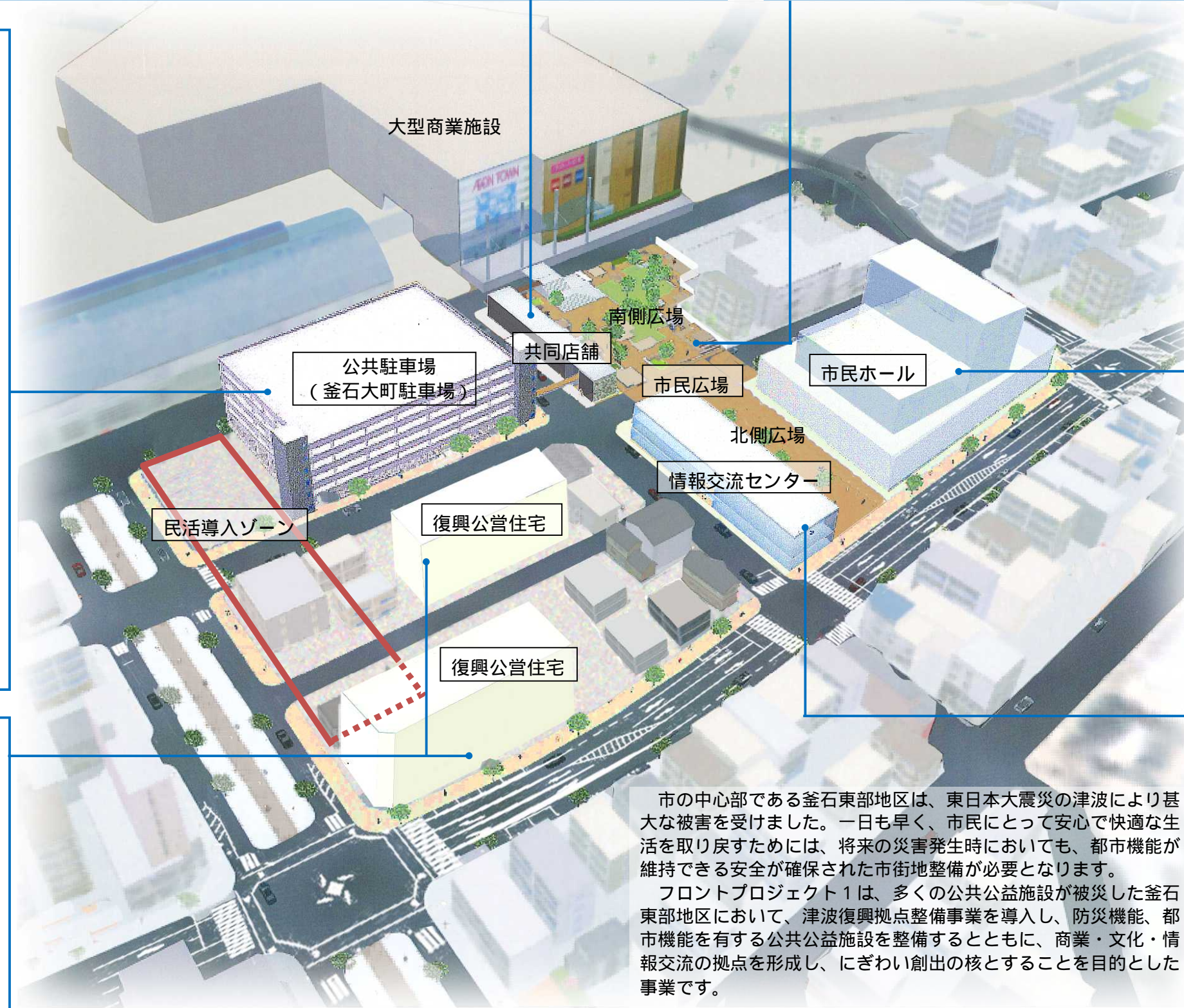


復興公営住宅

規模：9階建て（47戸程度）
 その他：店舗（テナント）
 入居開始：平成28年度

規模：8階建て（34戸程度）
 入居開始：平成28年度

釜石東部地区に計430戸の整備を予定している復興公営住宅のうち、2棟81戸程度をフロントプロジェクト1エリア内に整備する。



市の中心部である釜石東部地区は、東日本大震災の津波により甚大な被害を受けました。一日も早く、市民にとって安心して快適な生活を取り戻すためには、将来の災害発生時においても、都市機能が維持できる安全が確保された市街地整備が必要となります。

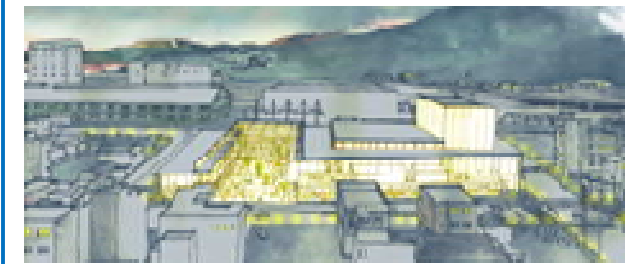
フロントプロジェクト1は、多くの公共公益施設が被災した釜石東部地区において、津波復興拠点整備事業を導入し、防災機能、都市機能を有する公共公益施設を整備するとともに、商業・文化・情報交流の拠点を形成し、にぎわい創出の核とすることを目的とした事業です。

市民ホール

延床面積：約6,100 m²
 主な施設：大ホール（800席以上）、小ホール、
 ギャラリー、練習室等
 供用開始：平成29年度

「市民に愛され、市民の心を熱くする、市民文化の総合支援拠点」を基本理念とし、被災した旧釜石市民文化会館の代替施設。

中心市街地復興の核施設であると同時に、釜石東部地区津波復興拠点整備事業区域内において、災害時の避難者収容施設となる津波防災拠点施設として整備する。



市民ホール 平面イメージ

情報交流センター

延床面積：約1,640 m²
 構造：軽量鉄骨造2階建て
 主な施設：ラウンジ、ワークスペース、
 カフェ、テナント等
 供用開始：平成27年度

市民や来訪者が気軽に訪れることができ、釜石に関する情報の集約と発信する施設とする。市民ホールとともに広義に渡り市民文化の発展を支え、にぎわい創出に寄与する役割を担う。

釜石東部地区津波復興拠点整備事業エリアにおける被災者コミュニティ活動支援施設として整備する。

（記載の計画内容は、平成26年3月末時点のものです。）